

中川幹太公約一覧

1 各地域が主役の自治

- (1) 木田庁舎の一極集中から「地域分権」へ新しい自立した地域づくりを目指します。
- (2) 三年で異動ではなく、市職員が生きがいを持てる「専門性のある人事制度」に改革します。
- (3) 総合事務所に「地域や地元のことがわかる市職員を配置」します。
- (4) 地域活性化のため「地域独自の予算」を立て、市長に提案します。地域分権を確立します。事業の結果はしっかり事業評価を行い、優れた地域をモデルにします。
- (5) 「ものづくり高度化」のための支援制度をつくります。

2 予約型コミュニティバスの普及

- (1) 高齢者、通学者等が安く利用できる「コミュニティバス」をつくります。

3 子育て支援

- (1) 子育て全国一を目指します。
- (2) 緊急時、病気の子どもを、代理人が親に代わって保育園等から病院に連れて行ける制度をつくります。
- (3) 産前産後のサポート制度をつくります。
- (4) 女性の社会参画バックアップ体制を強化します。
- (5) 保育料を県内で一番安くします。
- (6) 不妊不育治療費を国の保険適用まで全額無償にします。
- (7) 大学、専門学校等の奨学金を給付します。

4 高齢者支援

- (1) 健康で長生きできる「予防医療・予防介護の先進企業(ベンチャー)」を上越妙高駅周辺に誘致します。
- (2) 特定健康診断の受診率を上げ、寝たきりを少なくし「介護保険料や健康保険料を安く」します。
- (3) 高齢者運転者のドライブレコーダー装着を補助します。

中川幹太公約一覧

5 危機防災管理と土木建設業

- (1) 災害、緊急対策は、「素早く分かりやすい対策」を打ちます。防災ラジオも活用します。
- (2) 災害級の豪雪時に、町内会等の除排雪費用を支援します。
- (3) 「空き家物件」情報は素早くつかみネットやその他で情報発信し、早めの再利用を促します。
- (4) 繰り返し防災訓練を行い、災害から身を守る「応用力」が付きます。訓練をとおして、災害により避難場所・避難経路が違うことを確認します。
- (5) 景観の保全、環境に配慮した土木・建設整備を推進します。
- (6) 災害時(豪雪時等)に重機不足、運転手不足で対応できないため、地元の土木・建設業の維持確保、人手不足・高齢化に向けて人材の育成・確保を支援します。
- (7) 周辺の市町村と連携し災害・豪雪対策を行います。
- (8) 道路、橋等の老朽化を点検して「直して使う」新技術の導入を推進します。
- (9) 地産品を購入してくれた都市住民が大災害時に上越市を避難先にできる「保険サービス」を提供します。
- (10) 保倉川放水路及び儀明川ダムの早期完成を目指します。
- (11) 獣害対策として、電気柵設置の充実、猟友会の支援に力を尽くします。

6 農林水産物の販売力強化

- (1) 農林水産物を「自分で売っていく」ための、販売計画、経営力の強化・育成を行います。
- (2) 「ふるさと納税」制度を活用し、返礼品による上越産品の需要を高めます。
- (3) 農林水産物の「後継者の確保と育成」を支援します。
- (4) ウッドショック(世界の材木不足)から、地元木材の利用を進めます。

中川幹太公約一覧

7 最先端のエネルギー制度

- (1) 原発再稼働は運営会社の信頼なくして再稼働はあり得ません。
- (2) 地震、風水害等他の災害と合わせ原発避難計画を立てます。
- (3) 原発に代わる再生可能エネルギー（太陽光発電、小水力、バイオマス、雪氷冷却熱等）を進めます。
- (4) 国のSDGs未来都市制度の導入に取り組みます。
- (5) 水素エネルギー、電気自動車の導入を進めます。
- (6) 直江津港エリアは、天然ガスを中心としたエネルギーの拠点にします。

8 歴史文化を生かした「通年観光」へ！

- (1) 雪国文化の「雁木町家」「寺町」の町並みを整備・保存します。
- (2) 町家・古民家を整備し、観光資源として「通年観光」を実現します。
- (3) 雁木やアーケードの店先を活用（貸す）して、チャレンジショップ、カフェの設置など街なかのにぎわい創出を支援します。

楽しめるまち直江津をつくります。えちごトキめき鉄道や軽便鉄道と連携して、「鉄道博物館」をつくります。水族博物館うみがたり、海岸線と海産物売り場、雁木町家から鉄道博物館へと直江津の街なか全体に「通年観光」を目指します。
- (5) 春日山城を上杉謙信公の聖地とし本格的な観光地に整備します。

9 その他

- (1) 副市長を4人制にします。
- (2) 市長直轄の政策諮問委員を設置します。
- (3) 東京事務所を設置します。